

旭小学校

かわら版

学校通信

- ・すすんで学ぶ子
- ・きまりを守る子
- ・心身をきたえる子
- ・まじめに働く子
- ・なかよく協力する子



令和2年3月24日号

## 希望を胸に89人が巣立ちます

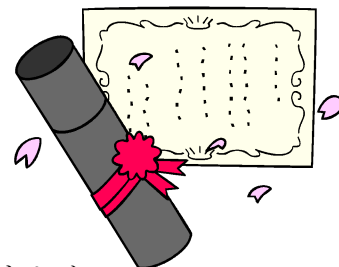
本日89名が6年間の小学校生活を終え卒業しました。

これから、夢の実現のためそれぞれが巣立っていきます。

新型コロナウイルスの影響で最後の1ヶ月休校となってしまいました。

しかし、6年生には輝かしい未来が待っています。卒業生のこれからの大いに期待するとともに幸多からんことを。

さて、みな様のご協力のおかげをもちまして、令和元年度も無事に終えようとしています。本日の卒業式と26日の修了式に子どもたちに手渡される通知表を読みながら、どの子も一年で大きく成長したなど実感しました。子どもは社会の宝です。これからも保護者、学校、地域が手を取り合って子どもたちの未来のために成長を支えていきたいと願っております。引き続きご支援をお願いいたします。



## 2020年教育が変わる?

教材会社や通信添削会社などがテレビコマーシャルなどで「2020年教育が変わる」という宣伝をしています。確かに来年度から新しい学習指導要領(文科省から出された学習内容が書かれたもの)が完全実施となります。これは、およそ10年間隔で改訂されているもので小学校では来年度が変更の年に当たります。

では、一体何が変わるのでしょうか。報道では、道徳や高学年の英語が教科化され、プログラミング教育が実施されるということが大きく取り上げられています。しかし、これらのことは、目に見える形の変化に過ぎません。

今回の改訂の中心は、「何ができるようになるかをはっきりとさせる」「主体的で対話的な深い学びを授業における学び方の中心におく」ということです。これらは、これまで行われてきた授業の質を向上させるための視点をはっきりさせるということです。そこで、子どもたちの学ぶ内容や学び方そのものの芯の部分は変わりません。

そうはいつでも、時代の変化とともに少しずつ学習内容にも変化があります。本校でもこれを受けて来年度次のような変更を行います。

3, 4年生の授業時数が増えます。(3年生は週3日4年生は週4日6校時)

5, 6年生の秋の遠足は行いません。6年生の国会見学は修学旅行に繰り込みます。

持久走は、大会でなく体育の授業における時間走とします。

## 卒業式式辞（抜粋）

今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、来賓や在校生の参加のない形での実施となりました。だからといって、卒業生の皆さんの六年間の日々の大きさとこれからの未来に変わりはありません。むしろ、こういう状況だからこそ、一層心を込めて皆さんのご卒業にお祝いを申し上げたいと思います。

卒業生の皆さんはこれから中学校へ進学し、それぞれの人生を築いて行くわけです。人生には、時には今回のように予期せぬことが起きるものです。予定通りに行かないときにも明るく前向きに未来を切り開いていかなければなりません。そんな生きるヒントが今回の出来事の中にあると思いました。それを三つの点からお話しします。

まず一つは、自分のことだけでなく相手のことを想像して行動することが大事ということです。今回のウイルスには未だ分からないこともたくさんありますが、今のところは、健康な若者は感染しても軽い風邪症状程度や症状の出ない人もいます。ということは、皆さんはほぼ大丈夫だといえます。しかし、もし皆さんが気づかない間にお年寄りや体の弱い方に移してしまったとしたら大変です。このように、自分にとって何でも無いことでも相手には大変なことになるものもあります。

二つ目は、社会全体のような大きな集団を考えると個人的な問題と同じようには行かないと知っておくことが大事です。もし、普通の状況でコロナウイルスに感染して肺炎になったとしても市内には大きな病院があり、すぐに治療をすれば個人としては大丈夫かも知れません。でも、社会全体で考えると大丈夫とはいえないのです。例えば、病院の能力を超えるほど患者が急に増えてしまったらどうなるでしょう。病院が対応できなくなります。すると、他の病気で治療が必要な人や交通事故に遭った人なども治療を受けることができなくなります。そして、社会が混乱に陥ります。今回の休校措置は、この大流行を抑えるためのものでした。ぜひ、自分が考えられる狭い範囲だけで正しいかどうかを考えるのではなく、社会全体を考えて行動できる目を養ってください。

最後は、自分で何が正しいのかを考え実行するということが大事です。今回のウイルスに関して流される情報の中には、正しい情報と間違っただけのものが入り交じっています。ですから、何が正しいのかよく見極め、正しい行動を自分で選び取っていくことが大切です。

これら三つのことを身につけるために勉強はあるといえます。国語や数学や体育や音楽などは人生を豊かに生きていくための基本練習です。それを生きていくためにどう生かすかが応用問題といえるでしょう。

より良く勉強していくためにはどうしたらよいでしょうか。一人ではうまくいかないことも仲間がいればよい考えが浮かびます。そのために学校や友だちや先生が必要なのです。特に中学校はそのような出会いが多くある場所です。ぜひ、多くの出会いを経験して自分の可能性を追求して行って下さい。そして、自分の道を見つけ実現するきっかけを探して下さい。私は、みなさんの未来に期待しています。